

## 計画策定に係る調査の概要と調査項目について

## 1. 調査の概要

	調査名	目的	対象者	調査項目	実施時期
①	高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査） 資料3	高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいのつくりに関する意識等を	要介護1～5以外の高齢者2,000人を無作為抽出	◆国が示す必須項目(36問)+オプション(31問) ◆町独自項目(31問) ※二次元コードあり	1月上旬発送予定 回答期限：1/31
②	在宅介護実態調査 資料4	把握し、計画に反映させる基礎資料とする。	主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方 約1,000人	◆国が示す必須項目(10問)+オプション(10問) ◆町独自項目(19問)	1月上旬発送予定 回答期限：1/31
③	介護サービス事業所調査 資料5	町内に位置する介護サービス事業所におけるサービス実施状況、サービスの質の向上に受けた取組状況、介護人材確保、介護離職今後の展開を把握する。	町内の介護サービス事業所	◆町独自調査 ※二次元コードあり	1月下旬～2月予定
④	地域団体等の活動に関するアンケート 資料6	団体活動のニーズや課題を把握する。	高齢福祉に関連する地域活動団体	◆町独自調査 ※二次元コードあり	1～2月予定

※アンケート設問に記載

必：国が示す必須項目
 オ：オプション項目
 独：町独自調査の項目

## 2. 各調査の調査項目（前回からの変更点等について）

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
	調査票の回答者	●				
問1 あなたのご家族や生活状況について						
1	家族構成	●				
2	普段の生活でどなたかの介護・介助が必要か	●				
2-1	介護・介助が必要になった主な原因はなにか		●			
2-2	主にどなたの介護・介助を受けているか		●			
3	現在の暮らしの経済状況	●				
4	住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらか		●			
問2 からだを動かすことについて						
1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	●				
2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	●				
3	15分位続けて歩いているか	●				
4	過去1年間に転んだ経験	●				
5	転倒に対する不安は大きい	●				
6	週に1回以上は外出しているか	●				
7	昨年と比べた外出頻度	●				
8	外出を控えているか		●			
8-1	外出を控えている理由		●			
9	外出する際の移動手段		●			
問3 食べることについて						
1	身長・体重	●				
2	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	●				
3	お茶や汁物等でむせることがあるか		●			
4	口の渇きが気になるか		●			
5	歯磨きを毎日しているか		●			
6	歯の数と入れ歯の利用状況	●				
6-1	噛み合わせは良いか		●			
6-2	毎日入れ歯の手入れをしているか		●			
7	6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか		●			
8	誰かと食事をとる機会はあるか	●				
9	ご自身で調理する頻度はどのくらいか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 週1回よりも少ない 5. まったくしない			●	新規	令和6年度からサロンで料理教室を実施しており、今後の事業継続のためにも、把握が必要のため。
問4 毎日の生活について						
1	物忘れが多いと感じるか	●				
2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか		●			

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
3	今日が何月何日かわからない時があるか		●			
4	バスや電車を使って1人で外出しているか	●				
5	自分で食品・日用品の買い物をしているか	●				
6	自分で食事の用意をしているか	●				
7	自分で請求書の支払いをしているか	●				
8	自分で預貯金の出し入れをしているか	●				
9	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるか		●			
10	新聞を読んでいるか		●			
11	本や雑誌を読んでいるか		●			
12	健康についての記事や番組に関心があるか		●			
13	友人の家を訪ねているか		●			
14	家族や友人の相談にのっているか		●			
15	病人を見舞うことができるか		●			
16	若い人に自分から話しかけることがあるか		●			
17	趣味はあるか		●			
18	生きがいはあるか		●			
19	スマートフォンを利用しているか			●		
19-1	どのように利用しているか			●		
20	在宅生活の様々な場面において、高齢者の意思が尊重され、本人の望む生活が継続できていると思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 思う 2. 思わない 3. わからない			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
問5 地域での活動について						
会・グループ等にどのくらいの頻度で参加しているか						
①ボランティアのグループ		●				
②スポーツ関係のグループやクラブ		●				
③趣味関係のグループ		●				
④学習・教養サークル		●				
⑤介護予防のための通いの場		●				
⑤-1 通所B				●		
⑤-2 通所B以外の住民主体の体操の居場所				●		
⑤-3 ふれあいサロン				●		
⑤-4 その他				●		
⑥老人クラブ		●				
⑦町内会・自治会		●				
⑧収入のある仕事		●				

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
	⑧特技や経験を他者に伝える活動			●	新規	ソーシャル キャピタル （社会関係資 本）を判定す る指標の一つ であるため。
2	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグルー プ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした ら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思 うか	●				
3	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグルー プ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした ら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加 してみたいと思うか	●				
4	町で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集してい るか			●		
	「すてき65メイト（健康づくり・介護予防サポーター）」 を知っているか			●	削除	認知度を測定 する項目であ り、一定周知 が図れている め。
	「回想法」※を知っているか			●	削除	認知度を測定 する項目であ り、一定周知 が図れている め。
5	「住みやすいまち」として、精華町に満足しているか			●		
6	高齢者への総合的な生活支援の窓口である地域包括支援セン ターが、精華町にあることを知っているか			●		
	仕事をしたい（現在、仕事をしている方は継続したい）と思 うか			●	削除	国のオプショ ン項目が追加 されたため。 （問6参照）
7	災害時の避難などのときに、家族や親戚、近所の人と助け合 うことができるか。（複数選択） 【選択肢】 1. 家族・親戚を助けることができると思う 2. 家族・親戚に助けてもらえると思う 3. 近所の人を助けることができると思う 4. 近所の人に助けてもらえると思う 5. わからない			●	前期問11 から移 動、 設問内容 変更	前期問11のま ま残すと、1 問のみになる ため。
問6 就労について						
1	現在の就労状態はどれか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤（フルタイム） 4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中 7. その他		●		新規	国のオプショ ン項目のため
2	【上記設問において「2. 引退した」の方のみ】 ①あなたはいつ引退しましたか 【選択肢】 1. 昭和____年 2. 平成____年 3. 令和____年		●		新規	国のオプショ ン項目のため

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
問7 たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」について）						
1	心配事や愚痴を聞いてくれる人	●				
2	反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人	●				
3	看病や世話をしてくれる人	●				
4	反対に、看病や世話をしてあげる人	●				
5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手		●			
6	友人・知人と会う頻度はどれくらいか		●			
7	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか		●			
8	よく会う友人・知人はどんな関係の人か		●			
9	家族以外の地域の人に頼られることについてどう思うか			●		
10	反対に家族以外の地域の人に頼ることについてどう思うか			●		
問8 健康について						
1	健康状態	●				
2	あなたは、現在どの程度幸せか	●				
3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか	●				
4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	●				
5	お酒は飲むか		●			
6	タバコは吸っているか	●				
7	現在治療中、または後遺症のある病気	●				
8	あなたは、病気になった時に相談・受診することができる、かかりつけはいるか			●		
9	「せいか365」を知っているか			●		
10	あなたは、「せいか365」の取り組みに参加しているか。 （1つだけ選択） 【選択肢】 1. 参加している 2. 以前参加していたが、今は参加していない 3. 参加したことはないが、参加してみたい 4. 参加したことはなく、今後も参加しない			●	新規	参加状況を把握することにより、健康ポイントの評価につなげるため。
11	「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）」を知っているか			●		
12	加齢により、耳が聞こえにくくなったと感じるか			●		
12-1	どんなことに困っているか			●		
問9 認知症について						
1	認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいるか	●				
2	認知症に関する相談窓口を知っているか	●				

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

	設問	国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
3	認知症についてどのように理解しているか。（複数選択） 【選択肢】 1. 脳の病気である 2. 認知症と物忘れは異なる 3. 認知症は直らないので受診や治療は必要ない 4. お薬や対応の仕方で行方を遅らせることができる 5. 脱水や低栄養（栄養が不足している状態）でも認知症を引き起こすことがある 6. 早期発見・早期受診が大切である 7. その他 8. わからない			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
4	「新しい認知症観」を知っているか。 【選択肢】 1. 言葉も意味もよく知っている 2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない 3. 知らない（初めて聞いた）			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
5	認知症に関して、精華町における以下のような取り組みを知っているか。 【選択肢】 1. 精華町認知症高齢者等SOSネットワーク事業(精華町安心SOSネットワークシール) 2. 精華町認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 3. 認知症サポーター養成講座 4. 認知症初期集中支援事業（認知症サポートチーム） 5. 認知症ケアパス（精華町認知症ガイドブック） 6. 本人、家族が集える場「おはなししましょうかい」 7. 精華町チームオレンジ 8. 回想法体験会「なつかしい話をしようかい」 9. 認知症カフェ、認知症予防教室 10. その他（ ） 11. 知っているものはない			●	新規	認知症施策推進計画を策定するにあたり、今後の事業展開に反映するため。
6	自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない			●	新規	認知症になった場合の生活意向を把握し、今後の施策の検討材料とするため。
7	認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない			●	新規	認知症になった場合の生活意向を把握し、今後の施策の検討材料とするため。

①高齢者の生活に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
8	家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない			●	新規	認知症になった場合の生活意向を把握し、今後の施策の検討材料とするため。
9	在宅生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人の望む生活が継続できていると思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 思う 2. 思わない 3. わからない			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
10	認知症について、どのような支援があればよいと思うか			●		
問10 介護サービスについて						
1	介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思うか			●		
2	支援や介護が必要になっても安心して暮らすためには、どのようなことが必要だと思うか			●		
3	「在宅医療」を知っているか			●		
4	今後、「在宅医療サービス（訪問看護・訪問診療等）」を利用してみたいと思うか			●		
5	どこで最期を迎えたいと思うか			●		
6	ACP（人生会議）※について知っているか			●		
問11 災害や感染症について						
	家族や親戚、近所の人と災害時の安否確認や集合場所について話し合っているか			●	問5へ移動	前期問11のまま残すと、1問のみになるため。
	新型コロナウイルスの流行を受けてあなたの行動に変化はあったか			●	削除	コロナ禍が終息したため。



②在宅介護実態調査 調査項目（案）

設問		国必 須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
A票：基本事項について						
問1	調査票の回答者	●				
問2	世帯類型	●				
問3	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるか	●				
問4	主な介護者の方は、どなたか		●			
問5	主な介護者の性別		●			
問6	主な介護者の年齢	●				
	主に介護している方には、15歳未満の子どもはいるか			●	削除	R6年度から重層的支援体制整備事業を実施し、複合的な相談に対応する体制整備を行ったため。
問7	現在、主な介護者の方が行っている介護等について		●			
問8	家族や親族の中で、ご本人（要介護認定を受けたあて名の方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいるか	●				
問9	仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何か			●		
問10	就職したり、復職したりすることはできたか			●		
問11	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス		●			
問12	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）		●			
問13	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況	●				
問14	ご本人（調査対象者）が施設での介護を希望される主な理由			●		
問15	ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病		●			
問16	ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用しているか		●			
問17	現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しているか		●			
問18	介護保険サービスを利用していない理由は		●			
問19	今後、どのような介護を受けたいか			●		
問20	その理由			●		
問21	病気になった時に相談・受診することができる、かかりつけはいるか			●		
問22	ご本人（調査対象者）は、在宅歯科診療（通院が困難な方の自宅に歯科医師等が訪問して行う口腔ケアや歯科診療）を利用したことがあるか			●		
問23	在宅歯科診療を利用していない理由			●		
問24	在宅医療サービス（訪問看護・訪問診療等）を利用して、自宅での生活を継続したいと思うか			●		
問25	在宅医療サービスを利用したいと思わない理由はなにか			●		



②在宅介護実態調査 調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
問26	地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへどう逃げるか、考えているか			●		
問27	ご本人（調査対象者）は、家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができていると思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 思う 2. 思わない 3. わからない			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
問28	在宅生活の様々な場面において、ご本人（調査対象者）の意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思うか。（1つだけ選択） 【選択肢】 1. 思う 2. 思わない 3. わからない			●	新規	認知症施策推進計画において、国が評価指標として示している項目のため。
問29	ご本人（調査対象者）は、認知症（現在または将来の可能性を含む）について、どのようなことに不安を感じると思うか。（複数選択） 【選択肢】 1. 家族や周囲の人にかかる負担 2. 日常生活(家事・車の運転など)の継続 3. 自分の性格や行動の変化 4. 自分を介護してくれる人がいるかどうか 5. 家族や大切な思い出を忘れてしまうこと 6. 相談先・受診先がわからないこと 7. 治療による経済的負担 8. その他			●	新規	認知症施策推進計画を策定するにあたり、今後の事業展開に反映するため。
問30	現在、ご本人（調査対象者）が楽しみにしている（続けている）ことを教えてください。（複数選択） 【選択肢】 1. 通いの場（住民主体の体操の居場所、ふれあいサロン、老人クラブなど）に参加する 2. 旅行に行く 3. 地域のお祭りや町内会の活動に参加する 4. 認知症カフェ、認知症予防教室（※）に参加する 5. カラオケで歌ったり、料理を作る、絵を描くなどの趣味をする 6. 自分のお気に入りの場所でゆったり過ごす 7. 家族・友人・仲間とお喋りする 8. 仕事やボランティア活動に行く 9. その他（ ） 10. 特にない  ※認知症カフェ、認知症予防教室：認知症の方やそのご家族、地域の住民などが気軽に集える場			●	新規	認知症の人の実態を把握し、施策検討の材料とするため。

## ②在宅介護実態調査 調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
問31	今後、ご本人（調査対象者）がやってみたいと思うことを教えてください。（複数選択） 【選択肢】 1．絵や手芸、音楽など新たな趣味を持ちたい 2．旅行に行きたい 3．通いの場（住民主体の体操の居場所、ふれあいサロン、老人クラブなど）に参加したい 4．地域のお祭りや町内会の活動に参加したい 5．ボランティア活動に参加したい 6．できる範囲で働きたい 7．家族・友人・仲間とお喋りしたい 8．同じような立場の人や家族と交流したい 9．認知症カフェ、認知症予防教室に参加したい 10．家でゆっくり過ごしたい 11．その他（   ） 12．特にない			●	新規	認知症の人の意向を把握し、施策検討の材料とするため。
問32	ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思うか			●		
<b>B票：主な介護者の方について</b>						
問1	主な介護者の方の現在の勤務形態について	●				
問2	主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているか	●				
問3	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか		●			
問4	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうか	●				
問5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について	●				
問6	介護に関する悩みや心配ごとについて相談する相手			●		
問7	主な介護者の方からの介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等（自由記述）			●		

③介護サービス事業所調査 調査項目（案）

設問		国必須	国OP	独自	前期からの 変更点	変更理由
1 貴事業所の基本的なことについて						
問1	事業所名称、法人名、担当者（記入者）氏名、連絡先			●		
問2	施設の入所サービスの定員数、入所（入居）者数、住所地別内訳			●		
問3	施設の入所サービスの待機者数			●		
問4	施設の入所サービスの待機者数の状況			●		
問5	待機者がいる理由			●		
問6	今後3年間に於いて、施設の入所サービスを増床していきたい意向はあるか 増床を想定している場合は、その予定時期、想定の実業規模（増員）			●		
問7	今後3年間に於いて、施設の入所サービスを縮小していきたい意向はあるか 縮小を想定している場合は、その予定時期及び想定の実業規模（減員）			●		
問8	今後、精華町内で新たに事業所を設置したいと考える事業はあるか			●		
問9	精華町内で地域密着型サービス事業を展開するにあたって、具体的な実施地域について			●		
問10	事業展開の意向がない理由			●		
	地域包括支援センターの機能強化にあたり、圏域の見直し等により新たに地域包括支援センターを設置する場合、受託意向はあるか			●	削除	令和6年度に地域包括支援センターを増設したため。
	地域包括支援センターの機能強化にあたり、圏域の見直し等により新たに地域包括支援センターのブランチを設置する場合、受託意向はあるか			●	削除	令和6年度に地域包括支援センターを増設したため。
問11	介護保険外で提供しているサービスはあるか			●		
問12	サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはあるか			●		
問13	高齢者への虐待が問題となっているが、虐待への対応に向けて、貴法人において取り組んでいることはあるか			●		
問14	貴法人では、地域との交流・連携のために行っている取り組みはあるか			●		
問15	利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っているか			●		
問16	貴法人の精華町内にある事業所の職員数の合計は何人が			●		
問17	貴法人の精華町内での職員の配置状況			●		
問17-1	職員が不足する理由			●		
問17-2	職員の不足の対応			●		
問18	採用に関する情報発信ルートとして活用しているもの			●		
問19	今後、ボランティア 団体等との協働について			●		
問20	貴法人では、職員確保や定着率向上のために行っている取り組み			●		
問21	事業を行ううえで、精華町に支援してほしい内容			●		
	意見等（自由記述）					

④地域団体活動に関する調査 調査項目（案）

設問		国 必 須	国 OP	独 自	前 期 か ら の 変 更 点	変 更 理 由
貴団体について						
	団体名、設立年、代表者名、連絡先、事業財団、メンバー数、収支状況			●		
問1	貴団体の活動人数の傾向			●		
問2	活動にあたって連携している機関・団体			●		
問3	貴団体の運営上や活動上で困っていることや課題			●		
問4	問3の課題解決に向けて実施している取組み（自由記述）			●		
問5	団体の活動を通じて、団体の参加者や対象者の困りごと等を見聞きすることはあるか			●		
問6	困りごとや相談に対して、解決できない場合は主にどのように対処するか			●		
問7	貴団体で解決できない困りごとや相談事例について（自由記述）			●		
問8	問6の相談先はどのようなところか			●		
問9	生活支援コーディネーターを知っているか			●		
	新型コロナウイルス感染症の影響で、活動に変化があったか			●	削除	コロナ禍が終息したため。
問10	今後取り組んでみたいこと、取り組むために勉強したい内容等（自由記述）			●		
	その他、支え合いや高齢者福祉についてなど、ご意見等（自由記述）			●		